

中世甲賀の歴史を今に伝える『山中文書』

『山中文書』は、柏木御厨（水口町柏木・伴谷地域）を中心に活動した土豪である山中氏に伝えられた古文書で、中世という時代における甲賀の歴史を知るうえで重要な史料です。

鎌倉時代から江戸時代までの古文書が約500点あり、現在、原本は伊勢神宮が運営する神宮文庫に納められています。原本を普段見ることは難しいですが、そのうち約300点は1959年刊行の『水口町志』下巻に活字化されていますので、図書館でご覧いただけます。

『山中文書』には鎌倉時代から戦国時代までの甲賀と中央政権との関わりについても記述されていて、日本史の教科書で取り上げられるような有名人も出てきます。例えば、後醍醐天皇や室町幕府將軍足利氏・管領細川家、近江国守護佐々木氏・六角氏といったその時代の権力者とも山中氏は関係をもとに土地や権利を後世に伝えようとした努力の痕跡が史料に残されています。



▲『甲賀市史 第2巻 甲賀衆の中世』

中世甲賀を理解するうえでキーワードとなる、同族結合の「同名中」や一族の枠を越えた「郡中惣」という組織についても、『山中文書』をひもとくことで多くを知ることができます。

同名中は惣領家（本家）を中心に庶子家（分家）や近隣の土豪が同じ名字を名乗ることで協力体制を築いた組織です。郡中惣は同名中の枠では解決できない甲賀郡と他郡・他国との争いに対応するための組織です。主従関係を結び中央集権的な戦国大名とは対照的に、平等性・公平性を重視した組織として「同名中」「郡中惣」は全国的にも注目されています。

今回紹介した『山中文書』は、2012年刊行の『甲賀市史 第2巻 甲賀衆の中世』に多くの文書と写真が収録されています。『山中文書』を読むことで、中世における甲賀の歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

※甲賀市史の購入方法についてはこちらから



問合せ 歴史文化財課 普及活用係 TEL69-2252 FAX69-2293



みんなの図書館

3月15日～4月14日までの行事予定

行事名	内容	開催日	時間	場所
対面朗読	対面朗読 *事前予約要	3月15日(金)	13時30分～15時30分	甲南図書交流館
		4月 5日(金)		
ギャラリー	2024ときめきアート展	3月2日(土)～3月24日(日)		信楽図書館
	炎を生きた神山清子展	3月24日(日)まで		
	ひまわり書道教室 桜書展	3月24日(日)～4月21日(日)		甲賀図書情報館
	南北墨画会山ゆり作品展	3月29日(金)～4月24日(水)		信楽図書館
	アトリエ・ピサーノ展	4月7日(日)～4月14日(日)		甲南図書交流館
その他	ファミリーコンサート	3月23日(土)	14時～15時	甲賀図書情報館

問合せ申込み

- 水口図書館 tel 63-7400 fax 63-4737
- 土山図書館 tel 66-1056 fax 66-1067
- 甲賀図書情報館 tel 88-7246 fax 88-7005
- 甲南図書交流館 tel 86-1504 fax 86-1505
- 信楽図書館 tel 82-0320 fax 82-3921

休館日閉館日

- 木・金・第3水曜日
- 月・火・第4金曜日
- 木・金・第4水曜日
- 月・火・第4水曜日
- 月・火・第4木曜日

図書館の詳細情報は左記または甲賀市図書館ホームページまで
https://lib.city.koka.lg.jp



消防団員○○さんの

二万流!

Vol.12

子どもたちに憧れられる活動を

大きな蜂の巣を駆除する坂本さん



消防ポンプ車両を点検中



変身!

信楽方面隊 雲井分団 団員 坂本 寿也さん

Q. 消防団員になろうとしたきっかけは?

地元の先輩消防団の方たちにお誘いいただいたことがきっかけです。地域の安全を守りたいという思いもあり、消防団に入団しました。

Q. お仕事や生活との両立は大変ではないですか?

草津市に職場があるので緊急出勤があった場合は時間がかかること、子どもが3人いるので、育児や家事も忙

Q. 消防団員をしてみたい良かったと思うことは?

しいなかで消防行事に参加すると予定を調整するのが少し大変ですね。しかし、消防団の活動を通じて、地域の人たちと交流したり、助け合う喜びを味わったりすることができているのでやりがいを感じています。また、自分の子どもたちにも消防団の活動をみせることで、地域の安全を守る大切さを教えることができたらと思っています。

地域の人たちと交流できることです。消防団の活動を通じて、地域の人たちと出会い、助け合う関係を築くことができます。また、火災等の災害が発生した時に、ほかの消防団員と一緒に活動することで助け合う喜びを味わうことができます。

そのほか、小学5年生の息子から「将来消防団に入りたい」と聞いたときはとても嬉しかったですね。今後もたくさんのごもたちに消防団に入りたいと思ってもらえるようにかっこいい姿を見せられるような活動をしていきたいです。そして、将来そのごもたちが消防団員として活躍してくれることを願っています。